

関連項目：教育活動プラン②、③

人とのかわり方を身に付け、自分を表現する力

目的

本校は児童数が少ないので、将来多人数の中で自分を表現することができるかどうか心配です。そこで、縦割り活動やグループエンカウンターを取り入れることにしました。また、授業では表現力を高める取り組みを積極的に取り入れました。

内容

● 縦割り活動

月・水・金の昼休みのいきいきタイムに体育的活動をしています。全校生を4つのグループに分け、6年生が下学年を励ましながら活動を進めています。運動会の全員リレーや大縄跳びでは、グループのみんなが声を掛け合って目標に向かって頑張っています。

また、清掃では、12のグループに分け6年生が清掃の仕方を教えながら作業を進めています。始めの挨拶や終わりの反省も毎日できています。

グループ分けについては、兄弟が一緒にならないことや人間関係を全職員で確認するようにしています。



【めあてを全員で話し合う】



【全員リレーの様子】



【大縄跳びの様子】

● グループエンカウンターで社会的スキルを身に付ける

児童朝会や人権を考える会、各クラスの学級活動などでエンカウンターを取り入れています。各クラスの学級活動では、東かがわ市のスクールソーシャルワーカーの先生と、このクラスにつけたい社会的スキルは何かを考え、クラスに合ったエンカウンターをスクールソーシャルワーカーの先生を中心に行います。児童朝会などでは、全校生が仲良くなれるようなエンカウンターを人権教育主任が中心になって進めています。



【1年生を迎える会】

● 授業での取り組み

現教では、表現力を高めるための研究授業や表現力を高める取り組みを考えました。授業では、クラスの児童全員が必ず発言できるような方法を考えて、実施しています。その際にも答えを言うだけでなくその理由も言うように指導しています。その他の取り組みとして、児童朝会の際には必ず感想を言うようにしたり、児童玄関の掲示板には、児童の作文を掲示したりしました。



【各クラスでの様子】

成果

こうした取組をすることで、毎学期行っている児童のアンケートでは、昨年の2学期と比較して、みんなの前で自分の考えをはっきり言うことができる児童が0.3ポイント(4点満点)高くなりました。また、清掃を一生懸命にできたと考える児童も0.5ポイント高くなりました。全体的に昨年よりポイントが高くなり自己肯定感が高くなったと考えられます。